

経営比較分析表（令和2年度決算）

高知県 あき総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	23	対象	透訓	救臨へ災輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
701,531	20,771	-	第2種該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
175	-	5
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
90	-	270
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
175	-	175

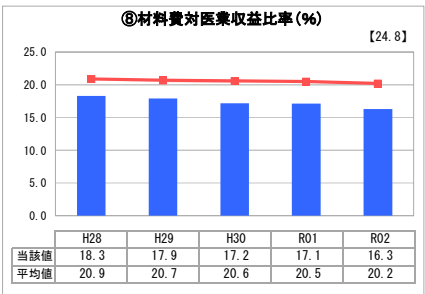
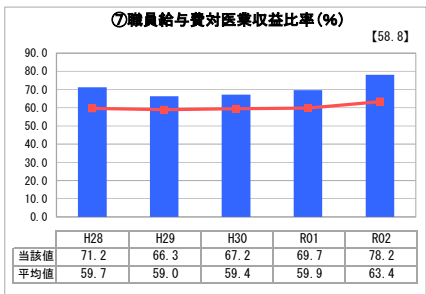
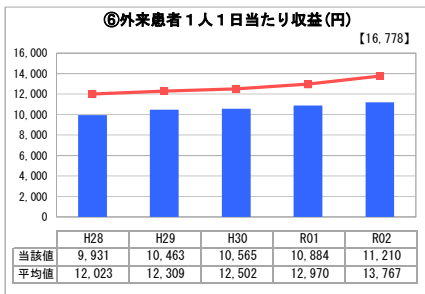
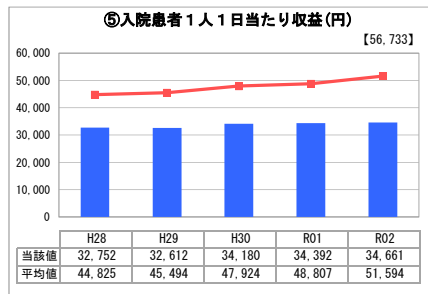
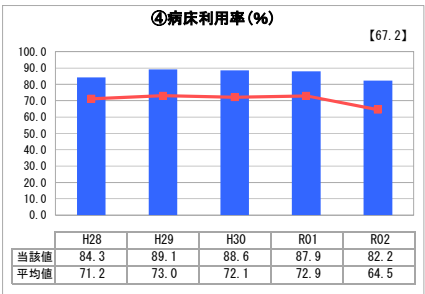
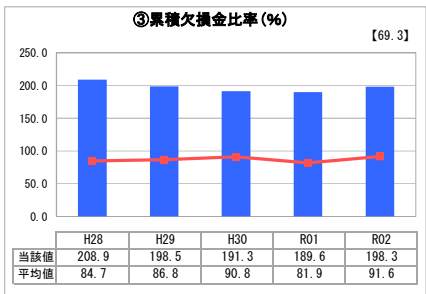
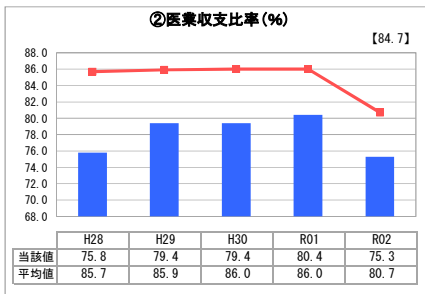
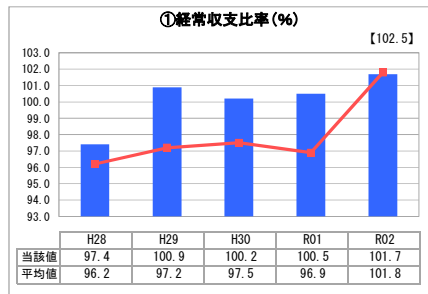
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

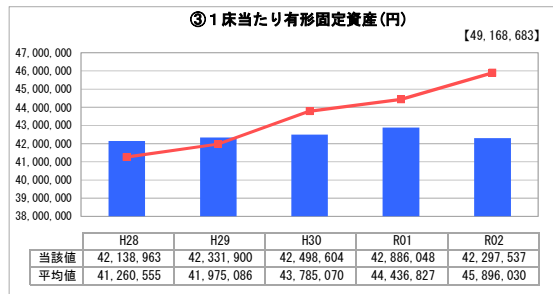
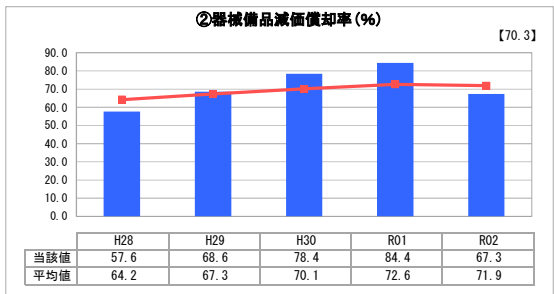
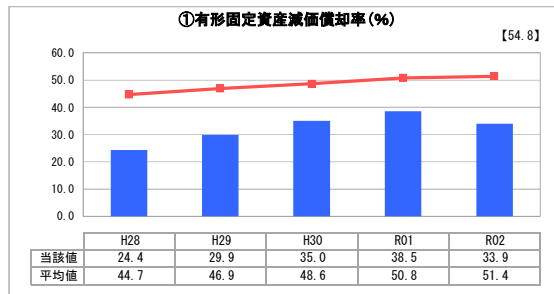
公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



I 地域において担っている役割

- ・二次保健医療圏における中核病院として、急性期医療から過疎地等における一般医療までの幅広い役割を担うほか、救急、小児、周産期をはじめとする不採算部門に関する医療を提供している。
- ・地域における災害拠点病院として、災害医療の中心的役割を担っている。
- ・県東部地域において、公立では唯一精神病床を持っており、措置入院の受入れをはじめ、精神疾患の拠点としての役割も担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当病院は精神病床を有していることから、医業収支比率や診療単価は類似病院の平均値より低くなっている。また、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による患者数の減少により、医業収益が減少し、そのため、令和元年度に比べ医業収支比率及び病床利用率は低下し、累積欠損金比率は上昇している。しかしながら、新型コロナウイルス関連補助金の受入により、経常収支比率は引き続き100%を超えている。

2. 老朽化の状況について

・平成26年度に改築されたばかりであり、有形固定資産償却率は類似病院平均値より低位である。また、令和2年度は医療情報システムを更新したことにより、令和元年度に比べ有形固定資産償却率及び器械備品減価償却率は低下している。

・1床あたり有形固定資産額は平均値より低く抑えられており、今後とも施設設備の適正な管理に努める。

全体総括

・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、病床利用率はこの5年間で最低の利用率となったが、類似病院平均値は上回っている。また、収益面においては、精神病床を有していることから診療単価は類似病院平均値に比して低いものの、順調に増加している。経常収支比率については、令和2年度は医業収益は減少したものの、新型コロナウイルス関連補助金の受入により、引き続き100%を超えている。

・一方で、職員給与費対医業収益比率は引き続き高い傾向にある。今後も良質な医療を安定的に提供していけるよう経営改善の努力を継続していく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和2年度決算）

高知県 幡多けんみん病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	20	対象	透し未訓方	救臨が感へ災輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
701,531	26,023	-	第2種該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
291	-	28
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	3	322
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
262	-	262

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

- ・二次保健医療圏における中核病院として、急性期医療から過疎地等における一般医療までの幅広い役割を担うほか、救急、小児、周産期をはじめとする不採算部門における医療を提供している。
- ・特に、県中央地域から遠隔であることから、地域完結型医療を目標に、救急をはじめとする高度急性期医療も担っている。
- ・地域における災害拠点病院として、災害医療の中心的役割を担っている。

II 分析欄

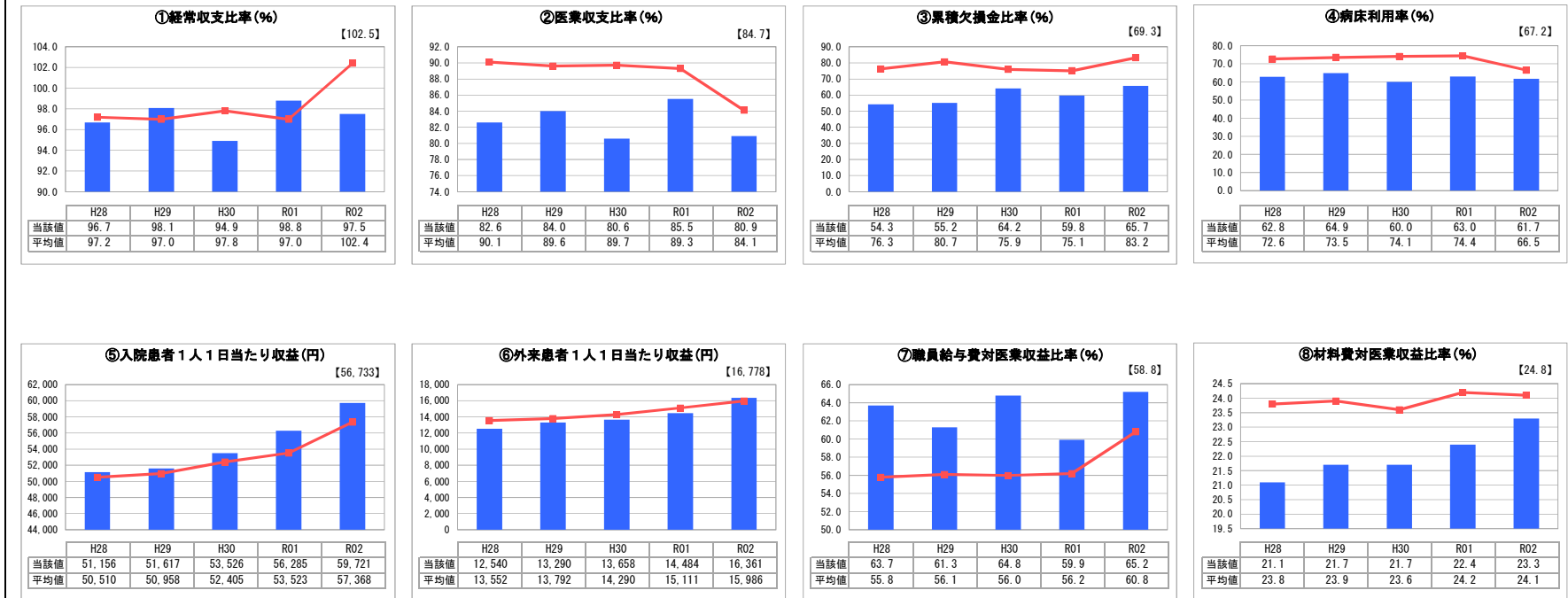
1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による患者数の減少により、医療収益が減少し、そのため、令和元年度に比べ経常収支比率、医療収支比率及び病床利用率は低下し、累積欠損金比率は上昇している。しかしながら、診療単価は毎年増加し、令和2年度は類似病院平均値を上回っている。

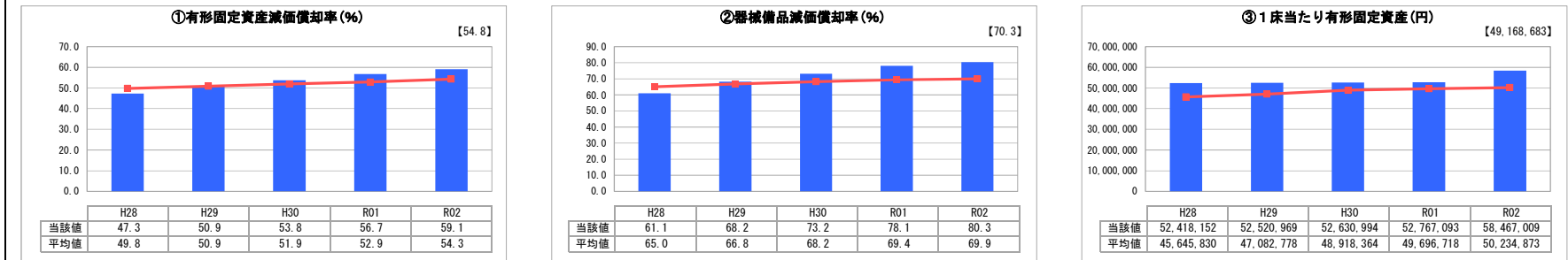
2. 老朽化の状況について

病院の開院から約20年が経過しており、有形固定資産減価償却率・器械備品減価償却率ともに類似病院平均値より高い状況にある。施設の改修・修繕により適切な維持管理を行い、施設の長寿化に努めていく。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。